

地域の農地は地域で守ろう

農事組合法人

国東さんらいずふあーむ設立総会

3月10日(土) 国東町下治郎丸公民館



国東町下治郎丸地区は、平成19年度からの品目横断的施策に対応するため昨年9月に下治郎丸営農組合を設立。大型トラクターを導入し、共同作業による麦の作付けを行ってきましたが、集落営農活動を行う上での基盤強化を図るため法人化をめざし、今回の農事組合法人の設立となりました。

この日行われた設立総会には、組合員42名が出席。設立発起人を代表して立花孝信さんがあいさつ。来賓の野田侃生市長、小山裕司大分県東部振興局農山漁村振興部長らがお祝いを述べた後、事業計画等を協議し代表理事に立花孝信さんを選任しました。

下山口営農組合設立総会

2月25日(日) 安岐町下山口公民館



安岐町下山口地区は、平成17年度から中山間地域直接支払制度に取り組んできましたが、新しい農業施策に対応するため集落全体で集落営農設立に向けて取り組んできました。

設立総会には、組合員32名が出席。組規約や今後の事業計画等を協議し、組合長に小玉綱美さんを選任しました。

今後は、「下山口の農地は下山口で守ろう」をスローガンに、専用機械の整備、効率的な農作業の受委託等を行い、地区の農業発展に取り組むことにしています。

国東市観光協会が発足

市内の旧町で組織していた4つの観光協会が合併した「国東市観光協会」が3月29日(木)に発足しました。

同協会は、新市の誕生に伴い昨年4月から旧国見町観光協会(中田博之会長)、国東町観光協会(清末諭会長)、武蔵町観光協会(瀧口公明会長)、安岐町観光協会(徳部伝造会長)が設立準備委員会(中田博之委員長)を発足させ協議を進めていました。

この日は、新組織発足に伴う設立総会がアストくにさきアグリホールで開かれ、4協会の会員など約60人が出席。規約や事業計画及び予算案、役員選任案などが満場一致で決議され、新体制がスタートしました。

今後は、市商工観光課内に事務局を置き、市内に広がる特色ある観光資源を生かし、関係団体と連携しながら観光事業の発展や観光客の誘致を図るとともに、来年開催される「おおいた国体」で訪れる競技関係者等を心のこもった「おもてなし」で迎え、市のイメージアップに努め、リピーターとして訪れてくれるよう「おもてなし」事業の推進等を図る予定です。



▲3月26日(月)アストくにさきで開催された合併調印式の様子



▲会長に選任された中田博之さん



▲設立総会の様子